

# 十一月臨時議会・十二月定例会

11月臨時議会は、11月13日に開催され、儀象堂整備工事請負契約の締結についてなどの議案が上程され、可決しました。  
12月定例会は、12月6日から21日まで開催されました。御田町線の美装化工事費・駅東リサイクルステーションの資源物処理料に係る補正予算などが上程され、可決しました。

こ  
ん  
に  
ち  
は

# し も す わ 町 議 会

で す

♥♠♣♦ ここに注目 ♦♣♠♥

議会報告会……………12～13

向陽高校生との懇談会……14～15

好きです しもすわ……………16

VOL.18 平成30年(2018)1月26日

編集／広報特別委員会 発行／下諏訪町議会

電話(0266)27-1111 FAX(0266)27-1237

<http://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/10001000000385/index.html>



ホシスメバでお星さまになったリノベーター

12月定例会で上程された13議案は、すべて原案通り可決されました。

# ふるさとまちづくり寄附金に 多額が寄せられる 駅東リサイクルステーション好評 望まれるマナー

## 「桜いっぱいにする会」 からも寄附

「ふるさとまちづくり寄附金」は、今年度4月から10月の間で192件2865万円を賜りました。制度が創設された平成20年度以降の累計で406件6553万2千円となっております。いただいた寄附金は、ふるさとまちづくり基金に積み立てられ、寄附者のご意向に沿った活用が図られます。

また「下諏訪桜いっぱいにする会」から109万6千円のご寄附を賜り、地域開発整備基金に積立られます。匿名の方からも、教育振興にと48万円を賜り、移動可能な土俵と相撲用パンツ（まわし）を購入します。パンツとまわしが一体型で、サイズが小、中、大、特大の4種類あります。

## 初めてクラウド ファンディング導入

八島湿原の木道整備にガバメントクラウドファンディングを活用します。クラウドファンディングとは、インターネットを活用し寄附を募る方法です。活用分野を絞ることで、寄附を提供する目的が明確で進捗のフォローも出来るため、比較的若い人をターゲットに町を知ってもらい、アピールすること

にも繋がることを期待されます。

## 御田町線 美化が進む

「街なみ環境整備事業」町道御田町線道路美装化工事が延長されます。国の社会資本整備総合交付金の追加交付の内示を受けたことに伴うもので、追加金額は1590万円です。今回の補正施工分を加え、今年度の施工延長は宮街道から諏訪皮膚科クリニックまでの260mとなります。



御田町線美装化工事完成予想図

## 発泡スチロール 大幅に増加

今補正予算で塵芥処理費の委託料166万1千円が追加計上されました。資源物等処理事業の増額補正です。具体的には資源物としての「ペットボト



1月3日の状況

ル処理委託料92万4千円を、118万7千円に、発泡スチロール処理委託料141万9千円を251万9千円に、金属類処理委託料134万2千円を163万1千円に増額されます。平成27年7月より設置をしている駅東リサイクルステーションは大変好評であり、平成28年度より収集品目が拡大されたことなどから、平成29年度の資源物の投入量が想定以上の量になりました。駅東リサイクルステーションは24時間利用でき、利便性が高い分、リスクもある。中には、未分別や業者の持ち込みもまれにある。敷地内には一般へ貸し出している駐車場もあることから時間での閉鎖はできない。今後もモラル等が課題だが、収集業者との協力体制や継続的なPRで注意喚起をし、なお職員がこまめに立ち寄るといったきめ細やかな対応をしていきたいとの説明がありました。

11月臨時議会で上程された2議案は、原案通り可決されました。

### 儀象堂を大幅に改修

今年度新たに黒曜石をテーマにオープンした「下諏訪町埋蔵文化財センター」と、「諏訪湖時の科学館儀象堂」の両施設を一体化。下諏訪町の歴史文化、新たなまち歩きの手点として、また内外の観光客への情報発信の手点として、国の平成28年度補正予算を財源とし、工事費6480万円で、リニューアル改修工事を行うものです。

1階は、下諏訪の歴史文化を散策するスタート地点にするため、デジタルサイネージ(電子看板)を備えて交流スペースに。2階では縄文から近代までの歴史紹介、3階では高級時計組み立て体験のスペースなどが整備されます。



埋蔵文化財センター

## 一目でわかる議決結果 11月臨時会

### 議決結果

議案第75号	専決処分事項の承認を求めることについて(専決処分第11号) 平成29年度下諏訪町一般会計補正予算(第4号)	承認(全員)
議案第76号	儀象堂整備工事請負契約の締結について	可決(全員)

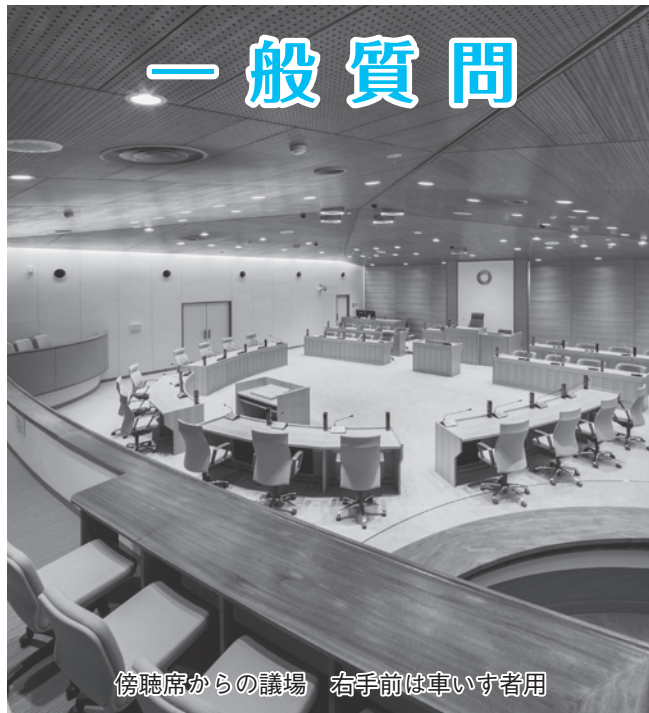
## 一目でわかる議決結果 12月定例会

### 議決結果

議案第77号	下諏訪町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第78号	平成29年度下諏訪町一般会計補正予算(第5号)	可決(全員)
議案第79号	平成29年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議案第80号	下諏訪町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第81号	下諏訪町特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第82号	下諏訪町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員)
議案第83号	平成29年度下諏訪町一般会計補正予算(第6号)	可決(全員)
議案第84号	平成29年度下諏訪町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第85号	平成29年度下諏訪町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第86号	平成29年度下諏訪町温泉事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第87号	平成29年度下諏訪町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員)
議案第88号	平成29年度下諏訪町水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議案第89号	平成29年度下諏訪町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全員)

※主な議案の審査内容は、2~3Pをご覧ください。

# 一般質問



傍聴席からの議場 右手前は車いす者用

12月定例会における一般質問は、単独質問に加え、届け出によるグループ質問が可能です。共通する課題などについて効率的に質問することを狙いとしています。単独質問は1人60分ですが、グループ質問は2人まで120分、1人増えるごとに30分が加わります。

今定例会では「日本共産党」、「きらめくまち」が各3人でグループ質問を行い、5人が単独質問を行いました。

- 4 - 5 P 日本共産党  
「町民要望実現を来年度予算に求めて」
- 6 - 7 P きらめくまち  
「高齢者にやさしいまちづくりをめざして」
- 7 P 中村奎司  
「県移行後の国保税はどうなるか」
- 8 P 岩村清司  
「6市町村合併のための具体的な方針は」  
青木利子  
「住民満足度調査から分かったことは」
- 9 P 森 安夫  
「湖畔の街路灯を明るく」  
宮坂 徹  
「町制施行125周年にメンデルのブドウを」

## Q 町民要望実現を

### 来年度予算に求めて

## A 広く声聞き予算に反映



金井 敬子

**Q** 予算編成にあたっての、町長の基本的な考えは。

**A** 多くの町民の要望を受け止め、「住民満足度100%」実現に向かう。町制施行125周年を、多くの

町民とともに祝いたい。

**Q** 予算規模は、新規施策、重点施策は。

**A** 予算編成中であり総額は流動的だが、今年度を若干上回るのでは。「健康スポーツゾーン」構想の一つとして周辺施設の集約を含めた総合運動場管理棟の改築、行政無線のデジタル化への取り組み開始を考えている。

**Q** これまで具体化に触れられつつ、積み残されている事業の赤砂崎エコタウン、新婚家庭向き住宅、線路下への子育て支援センター開設は、どう進める考えか。

**A** 今年度、それぞれ庁内プロジェ

クトで、検討を行ってきた。

**Q** 新婚家庭向き住宅に、防災リハ跡地の旧職員用住宅の活用は。

**A** 旧職員住宅4世帯分は改修して、来年度からの貸し出しを検討中。



新婚家庭への貸し出し検討中の  
防災リハ跡地内旧職員用住宅

**Q** 今年度、「町民満足度」把握を目的とした町民アンケート調査の結果は。

**A** 満18歳以上の町民千人を無作為抽出、389人からの回答。前回から順位を上げた満足度の高い項目は、「福祉タクシー助成などの移動支援」「保健医療・健康づくりの支援」「介護サービス・高齢者支援」「子育て支援」など。「現在の下諏訪町での生活に満足」「どちらかという満足」合わせて73・52%。

**Q** 「要支援者」に対する交付枚数を減らす福祉タクシー等利用料金助成事業の見直しをやめてほしい。再考を。

**A** 今後、自動車運転免許自主返納者が増えると考え、その分を上乗せする。「要支援者」に対する交付枚数減で、153万円の減。免許自主返納者上乗せ分で31万円の増。

## 国保税引き上げは避けられそう

**Q** 次年度広域化が開始される国保だが、国保税は。

**A** 税率改定は避けられる見込み。

**Q** 今年度国保税15%引き上げの影響は。

**A** 滞納額が増加している。



藤森 スマエ

## 部活教員の多忙化は

**Q** 町内中学校の部活の実態は。部活顧問教員の多忙化は。

**A** 部活は有志の課外活動と位置づけられている。教師は授業と部活の両立はできている。

**Q** 2020年度から小学校5・6年生の英語教科化がスタートする。現在のNLT(外国語教師)との関係、専門の英語の先生の配置、英語力取得への取り組みは。

**A** NLTと顧問の関係は良好であり

り継続していく。専門の先生の加配をお願している。英語力取得のための研修の場を設けている。



NLTと楽しく学ぶ英語授業

**Q** 人口減少による小中学校の今後について、広く町民論議をすべきでは。

**A** 北小は社中へ、南小は下中へ進学し、小中一貫が下諏訪の特徴。コミュニティスクールは充実している。4校体制は維持していく。保護者やPTAからの意見を聞き、あるべき姿を検討していく。

## マイナンバーを拒否した時

**Q** マイナンバーを書きたくないといつても、窓口で「こちらでやっておきます」と言われ、「これってどういうこと？」と腑に落ちないが。

**A** マイナンバーを記載(提出)していただくべき事務において、マイナンバーを提出していただけない場合

は、法律に基づき、空欄がないよう追記をさせていただいている。法律で認められているとはいえ、反対や不安の気持ちを除かれるよう丁寧な対応をしていく。



小池 忠弘

## 移動販売車の運行 早期実現を

**Q** 町長公約の移動販売車の早期運行の要望が強い。実現の見通しは。

**A** 特に遠隔地からの要望が高く、是非事業化したいとの思いは強く持っている。業者からの提案を受け検討中に相手の事情変化もあり、具体的な話はできないが、町として委託か補助制度とするかの協議段階。できるだけ早くと考えている。

## 防災・減災体制の強化

### 進んでいるか

**Q** 住宅耐震化の取り組みの進捗状況は。

**A** 町広報や班回覧を通じ周知し、本年度は2区350戸、4区230戸を全戸訪問。診断は戸別訪問での7件の申し込みを含め13件、改修10件の実績。今後もきめ細かい相談のり耐震化率を上げていく。

**Q** 今後の防災士の活用、支援金終了の後の新たな取得希望者への援助が必要では。

**A** 3年間のチャレンジ支援金で101人が資格取得。地区防災組織での位置付けなど来年度立ち上がる防災士会(仮称)での検討もされる。資格取得への補助は続けていくつもり。

## 「町防災・減災基本条例」の制定

**Q** 「防災意識日本一」をめざす町として、「町防災・減災基本条例」の制定を提案する。来年は町制施行125周年を迎える。それに合わせてどうか。

**A** 防災の意識を高めることが大事。自助・共助を理解してもらいたい。来年全地区で防災計画ができる。条例は来年が良いか、ハザードマップ作成時に合わせるかを検討したい。



Q 高齢者にやさしいまちづくりをめざして

A 施策を着実に進めていく



中村 光良



田嶋 彰

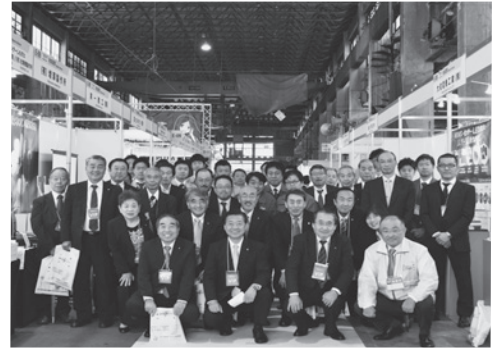


河西 猛

Q 高齢者が元気で働ける場所を提  
供すべきと考えるが。

A 仕事は生きがいに繋がる。定年  
制の廃止などをした企業へ助成金を  
支給する制度もあるので、ものづく  
り支援センターを通じて情報を提供  
していければと考える。

Q 「歩く」ことは、健康増進につ



毎回到ぎわう諏訪圏工業メッセ

ながら、大きな効果が見込めるが。

A インターバル速歩やノルディック  
ウオーキングなど、町では運動講  
座を展開している。継続的な運動に  
つなげるため、今後もサポートして  
いきたい。歩くことは健康の基本だ  
と考えている。施策を着実に進めて、  
歩きやすい環境を整備していきたい。

諏訪圏工業メッセの成果は

Q ものづくり支援センターが注力  
している諏訪圏工業メッセへの事業  
の町内状況と成果はどうだったか。

A 今年は16社が参加し、受注相談  
に応じた。2社で三つの案件計14  
4万円を契約できた。

こども食堂の充実を

Q こども食堂の充実を。町内で定  
期的に開催していく店舗もあり、今  
後の支援に期待するが。

A 町の「こども未来基金」を活用  
し、こども食堂を開催する店舗もあ  
る。基金の制度を活用し応援してい  
きたい。



Q 町内でフードドライブに取り組  
む団体がある。支援を。

A 施設要望の相談を受けている。  
町の施設を利用していただくなど、  
全面的に支援していきたい。

Q SNSの活用による自殺防止に  
ついては。

A 中学生には、相談用アカウント  
を登録するためのQRコードを配布  
してある。日頃の信頼関係の構築と  
共に、子どもに変化があるときは、  
子どもの気持ちに寄り添い、一緒に  
考える。

景観重要樹木について

Q 町の景観資源の一つ「緑」は、  
背後の緑地に加え、神社の古木、旧  
街道沿いの緑、庭園林、住宅地内の  
生垣等で保たれてきた。町は「景観  
重要樹木」の指定を条例化している  
が、現状はどうか。

A 平成16年6月に制定された、景  
観法の中で位置付けられている。景  
観を形成している樹木を適正に保全  
していく目的で指定する。平成24年  
8月に「下諏訪町景観条例」を施行  
しており、景観重要樹木も運用され  
今日に至っている。

Q これからの運用をどう考えるか。  
A 地域の景観にとって重要となる  
樹木を良好な状態で適切に保全して  
いくことができる。住環境の向上は  
住民にとっても最大の効果があるも  
のと考える。



町の宝である「緑」を守りたい

Q 諏訪バイパスの計画が進行して  
おり、予定ルート沿いでも、景観保  
全について、検証すべきではないか。

A 諏訪バイパスについては、現在  
環境影響評価の事前調査を行ってい  
る。技術委員会を経て、本格的な調  
査が実施される。この角度からも、  
景観重要樹木への指定も選択肢に入  
れながら、景観維持に努めたい。

Q 計画ルート全域にわたり、町民

と検証していくべきと考えるが。

**A** 町全体の景観の一部となり重要な部分である。国から示される結果や計画を注視していく。担当課には、今から準備するよう指示している。アンテナを高くしながら進めたい。

## ヘルプカード、ヘルプマークは

**Q** 9月議会の一般質問で触れたが、その後の検討状況はどうか。

**A** 現在、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会で、障がい者への災害時ヘルプカードの配布ができるよう進めている。

また妊産婦の出産・育児の不安に對する支援として、妊娠届けの際現

在配布しているマタニティマークよりわかりやすいように、新たなキーホルダーの配布を考えている。高齢者等に対する災害発生時や救急搬送時の手助けとなるツールを、他市町村の事例を参考に検討する。

## 坂道をセールスポイントに

**Q** 坂道を活用し、坂の町として下諏訪のセールスポイントにしたい。

親しみある坂の名称を募ったり、看板を表示できないか。

**A** 坂の町はいい提案。名称については、古くからの名前を掘り起した方が愛着が湧く。特色あるまちづくりに取り入れたい。

に高い。

**Q** その理由は何か。

**A** 住民ができるだけ外来で済ませたいという気持ちから受診が遅れ、重症化しているのではないかと。

**Q** 県移行後の国保税はどうか。

**A** 医療費が毎年1%増加するとされており、毎年2千5百万円ほど赤字になると予想している。

**Q** すると次の国保税の改定は、平成32年頃になるのか。

**A** 今後も国保税の改定は必要と考えているが、時期は必要に応じて検討していく。

**Q** 税を上げないためには、医療費の削減が必要と思われるが、その対



坂にも町民に親しまれる名前が欲しいね

## 国保税の今後は

**Q** 国保税見直しはどうか。

**A** 平成30年度の町の保険税納付金は、平成28年度に対し、10・3%増の試算となり、激変緩和措置によ

策をどう考えているか。

**A** 病気にならないための「予防医療」が大事。特定健診受診や健康ポイント制度を利用しての健康づくりを、住民の皆さんにお願いしたい。

## 「サマーイルミネ」でまちおこし



イルミネーションセミナーにも参加

り約5000万円抑えられ、平成28年度とほぼ同水準の金額となる予定。

**Q** 県移行による町への影響は。

**A** 県への納付金は激変緩和策で補てんされるので、平成30年度の税率改定は避けられると思う。

## その他の質問項目

・フィックスマイストリートについて

・所有者不明の不動産について

**Q** 当町のイルミネーションは、夏にやることに意味がある。多くの愛好者と力を合わせ、「町中イルミネーション」もすわ」としたらどうか。

**A** 今年度は諸事情から、職員主体の設置となった。今後は住民の皆さんに参加いただき、セミナーも開催するなど、楽しんでもらいながら作り上げていくイベントとしたい。

## ポートの合宿誘致の見直しは

**Q** オリピックの事前合宿誘致は進んでいるのか。課題は何か。

**A** 先日ドイツから視察にみえた。いい感触であり、期待している。課題は2kmのコース確保である。

## Q 県移行後の国保税は どうなるか A 31年以降は不足する見込



中村 奎司

**Q** 当町の国保税額と医療費の実態は他市町村と比べてどうか。

**A** 一世帯当たりの保険税は8万7千円で県では61番目に安い。一人あたり医療費は36万7千円で17番目

**Q 6市町村合併のための  
具体的な方針は？**

**A 当町のみで動くべきでない**



岩村 清司

**Q** 岡谷市・諏訪市・下諏訪町の2市1町合併からまず始めようという民意もあるが。

**A** 諏訪は一つであるべきだという個人的な思いはあるが、諏訪広域連

合の一員として活動しているなかで当町だけがその方法論を語る立場ではない。平成14、16年にかけての合併が頓挫した理由は民意を得られなかったからと考えている。それはとても重いことであり、今でもその民意は根強いと思っている。

**下諏訪岡谷バイパスについて**

**Q** 総事業費はいくらか。  
**A** 約512億円。

**Q** 第一工区トンネルの残土は東山田区内を搬出するのか。

**A** 生活道路に支障がないよう、岡谷側から掘削・搬出する。

**Q** 労災リハビリ跡地の利用は。

**A** バイパス全線を見たときに道の駅の必要性を感じる。国に要望している。

**町内の観光・文化施設について**

**Q** 諏訪湖博物館・赤彦記念館の入



下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館

館者数は。

**A** 開館時は年間2万6千人。現在は年間5千人を下回っている。

**Q** 当館設計者の伊東豊雄氏と茅野出身の建築家藤森照信氏との共同企画展の様な斬新な企画を、開館25周年を機に検討してはどうか。

**A** 企画が可能かどうかを含め、研究検討したい。

**Q** 町内9箇所の観光・文化施設の入館料を無料化すれば入館者数が増加するのでは。

**A** 難しい点もあるが、町民の皆様が存在意義を知って頂くためにも、埋蔵文化財センターは期間を限定し、正月三が日を無料にする予定。

**Q 住民満足度調査から  
分かったことは**

**A 84%が「下諏訪町を好き」**



青木 利子

**Q** 町民アンケートの問いで「町に愛着があるか」への回答は。

**A** 愛着がある83・55%、住みやすい82・52%、住み続けたい83・55%。当町での居住年数への回答は。

**A** 20年以上が43・19%、15年〜20年が3・86%で、前回とほぼ同様の回答だった。

**Q** 「住みやすい」への回答は。

**A** 「温泉が豊富」、「静かな町」、「コンパクトの町」が上位だった。

**アンケート結果の活用は**

**Q** 運動・スポーツの関心度は。

**A** 前回の調査で56%の「週1回以上スポーツする」が52%に下がり、スポーツをしなくなる傾向。スポーツ推進計画の目標65%も下回る。

**Q** 今後の対策は。

**A** 体力づくり教室やニュースポーツ体験教室の実施などで、気軽にス

ポーツに触れる機会を提供する。また町制施行125周年記念事業で「健康スポーツ都市宣言」に関することも、スポーツ推進計画に位置づけていく。

**分かりやすい観光案内の看板を**

**Q** 先日の方陽高校生と議会の懇談会の中で、まち歩きしやすい看板の設置を求める声が出されたが。

**A** 現在ある看板はまち歩き観光を推進する以前に設置したもので、統一感がなく老朽化している。観光客の周遊や歩いて巡る導線を見極め、外国人観光客への案内も含めた看板を設計し、周辺環境との調和や景観

に配慮した設置を準備する。

**Q** 三角八丁の時などイベント時にゴミ箱の設置を望む声もあったが。

**A** 参加者に考慮し、各団体の販売に係るブースにゴミ箱を設置していただいで、その場で処理頂けるように呼び掛けていく。



もっと観光客にわかりやすい看板を



## Q 湖畔の街路灯を 明るく

### A 全基新しく、フットライトも



森 安夫

Q 以前もとりあげたが、湖畔の街路灯は暗い。使える支柱は活かしソーラーや明るいLEDに、また修理性など考慮し全基更新すべき。

A 本年度、太陽光発電式街路灯詳



更新が計画されている諏訪湖畔街路灯

細設計を行った。現在99基あるものを70基に集約し、フットライトも設置し安全で明るい街灯に新しくする。

### 行政もコンパクトに

Q 下諏訪町は地形的にはコンパクト

## Q 町制施行125周年に メンデルのブドウを A 協議検討していきたい



宮坂 徹

Q 先ごろ町民大学で「メンデル講演会」が開催され70人という多くの町民が参加された。日本メンデル協会は、萩倉出身の篠遠喜人博士が発起されて、下諏訪町でスタートした

協会で、関係者の強い思いで講演会が下諏訪町で続いている。町出身の篠遠博士を顕彰する意味で、小石川植物園にある「メンデルのブドウ」「ニュートンのリンゴ」を記念植樹することは如何か。

A 篠遠先生のことや、メンデル協会が毎年会を開いていただいていることは感謝したい。功績を顕彰しながら、知っていたただく機会にすることは大切なこと。記念事業にできるかは協議検討したい。

### 外国の方におもてなしの気持を

Q ユニバーサルな環境づくりの中で、外国の方が来町した折の対応と

トな町だが、遠隔地もあり、少子高齢化に伴う課題もある。さらなる住民満足度アップのための施策は。

A あざみ号ダイヤ改正や、移動販売車等の事業を着実に進め、少数意見も大切に、住んでいる人が魅力を感じるまちづくりを進めていく。

Q 人口減少や税の減収が考えられる中で、行政もコンパクトに。行政改革や職員の意識改革や人材育成が大切。

A 事務事業評価、効率的な行政サービス、ワンストップサービス等、第5次行政改革大綱に沿って進めている。スキルアップや意識改革は大事。課を超えた連携を強化し、セク

して、①案内板に外国語表記、絵文字表記を②人が集まるところにも外国語表記を③受付には「困ったことがあれば申し出を」のプレート④外国語併記の観光パンフ作成⑤英会話等の教室開催⑥通訳をお願いできる人のリストアップなど、今から準備



簡単な英会話でも気持ちは伝われればおもてなしになる

ト主義をなくしている。さらに効率化に向け住民ニーズを掴み、サービス向上と業務の能率を上げていく。

### 工業振興でスワリカの活用を

Q 諏訪東京理科大は平成30年度から公立化され、町も事務組合の一員になる。活用をどう考えるか。連携をとることで地元就職も増える。

A 町もサポートしているので、連携を深めたい。高い技術力を自社の製品に繋がるよう支援していく。

Q 町内企業の現況は。

A 概ね好調、売れるモノづくりを進める。課題は人手不足。移住者との雇用マッチングに取り組む。

備することを提案するが如何か。

A 昨年度町が主催した、観光に携わる関係者対象の「外国人観光客誘客セミナー」には、参加が少なく、同時に行ったアンケート調査の提出も少なく、対応の意識がまだ低いとの感想を持った。まずは訪日外国人のまち歩き拠点として改修中の儀象堂から、提案に加え食事の問題・免税・カード決済のことなど、できることから対応したい。

Q 町がリードして雰囲気づくりをしてほしいが。

A 大切な視点だと思う。何気ないことがおもてなしにもなる。指摘以外にも考え創り出していきたい。

# 視察研修に

## 総務経済常任委員会

11月20日～22日

新潟県 燕市  
見附市



見附市市長 久住時男氏への面会

## 地域コミュニティの構築を学ぶ

### 燕市

#### 積極的な移住定住支援事業

燕市では、次の3点を学びました。

○移住定住の促進について

○雇用就労を支える産業振興

○つばめ若者会議の取り組み

について

燕市は人口8万人。洋食器の生産では世界的なシェアを誇る工業都市です。

移住定住の促進では、移住定住総合窓口で、移住相談会、フェア・セミナーの開催、首都圏各大学キャリアセンターとの連携、「東京つばめ」と「事業との連携によるU・Iターン就職相談の対応を行なっています。

移住定住支援事業として、移住者に住宅取得費最大100万円を補助。また、空き家バンクを利用した際には「空き家活用のための家財道具等処分支援事業」として最大10万円の交付をするなどの制度があります。

燕市は工業都市ですが、小さな企業が多く、都会での求人活動が難し



市民交流センターには各種健康運動器具が

いので、インターンシップ事業で地元企業を知ってもらい、都会で就学した後に燕市に戻ってこようという意識を持ってもらうという2次効果・波及効果を狙っているということでした。

### 見附市

#### 「歩く」で活力あるまちづくり

見附市は、新潟県の中心に位置する人口4万人余り、面積は78平方キロメートルの平地の街です。

最初に現在任期四期目の見附市長の久住時男氏から、1時間にわたる熱弁をお聞きしました。内容は、人口減少、高齢化社会になっても耐えられる町にということでした。市長になって15年、健康施策として、「健康の人をより健康にする。健康こそ住民の幸せ」を中心にやってきました。病気は「歩く」ことで予防改善できます。

「歩く」と医療費も抑制できる。今より1500歩多く歩くことで一人当たり年間3万5千円の医療費が抑制できると、科学的に明らかになっているそうです。

地域コミュニティの構築として、地域住民が主体となって地域づくりを行なう仕組みになっています。町内会、町内各種団体、消防団、区長会、学校PTA、民生委員等の仕組みを人口の約83%の参加で作りに上げている等々が示されました。



市民交流センターの中にある将棋コーナーは人でいっぱい

実際に、市民が利用できる大きな施設が市の中心部にありました。公共交通の整備で10分に1本の路線バス、コミュニティバス、好きな時に利用できるデマンドタクシーが利用できることで、時刻表すらいらないうことでした。市民交流センター（年間50万人利用）、イングリッシュガーデンや企業進出が進むテクノガーデンシティーの視察もしましたが、全て規模が大きなものでした。

# 常任委員会

## 生活文教常任委員会

11月14日～16日

京都府 久御山町  
宇治市

### 久御山町 幼保小中一貫教育の取組み

京都府久御山町教育委員会は、「くみやまタウンキャンパスプラン」の理念に基づき、次世代を担う「久御山の子」を育てることを目指しています。



副議長はじめ多くの職員で対応していただきました



久御山町の内田副議長（右端）と

「くみやまタウンキャンパス」とは、町全体をキャンパスととらえ、地域にある先進的な企業や産業の技術・知識、文化財、人材等と協働し、地域全体で特色ある教育を推進するとともに、近隣の大学や高等学校との連携によるスムーズで一貫性のある教育により、子ども達の希望進路の実現・地域有為の人材育成を目指す教育ビジョンです。

## 「認知症」施策の先進地と 幼保小中一貫教育の取組みを視察

平成23年度に「めざす子ども像」を定めて『久御山学園』を創設し、地域・保護者・学校・幼稚園・保育所が、同じ目標に向かって教育活動を推進しています。運営計画は、町立保育所、幼稚園及び小中学校を町全体の学園ととらえ、0歳から15歳までを通した幼保小中一貫教育と、地域と家庭・学校をつなぐ学校運営協議会等とともに、町ぐるみで子どもを育てる組織です。

町には3小学校にそれぞれ付属幼稚園・保育園があり、中学校は1校となっており、コミュニティスクールは、3小学校ごとに中学校と行っていて、タウンキャンパスの取組みは生涯学習と学校教育の合体を目指したものとことでした。

### 宇治市

#### 認知症の人にやさしいまち

宇治市は、平成27年3月に全国の自治体として初めて「認知症の人にやさしいまち・うじ」を宣言しました。

認知症事業の取組みでは、平成20年度の「認知症地域支援体制構築モデル事業受託」が転機となり、23年度には「もの忘れ連絡シート作成」「認知症疾患医療センター設置」（府立洛南病院）を行い、翌年には市内

の病院が医療センターとなりました。25年には国の認知症初期集中支援事業設置促進モデル事業を受託、認知症対応型カフェ（レモンカフェ）を開始。以降徘徊模擬訓練「あら？どこ行かはるの？プロジェクト」・「OS ネットワークおよび事前登録の開始」など事業を推進しています。



認知症施策の説明を聴く

特徴では、認知症コーディネーターを3名配置し、認知症に専門的に関わり、専門医との連携も図っています。また、初期集中支援チームが独自のチェックシートも併用し、関係機関に声を掛けカフェにつなぐ、相談を支援する活動をしています。役所の職員のほとんどがサポーター講習を受けオレンジリングを付けて窓口対応している、実態を公表する人が増えており、町全体の意識が高まっている、チェックシートは9割以上が返信されているとのことでした。

# 4つの分科会形式で意見交換

## 議会報告会開催

今年度の議会報告会を、11月2日(木)に下諏訪総合文化センターで開催しました。これまで、寒さの厳しい時期の開催が続き、参加者の皆さんから「開催時期の検討をすべき」とのご意見をいただいておりますので、例年より早めの開催となりました。今回も、多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

4分科会で皆様から頂戴したご意見と、アンケート結果の一部をご紹介します。これらは、全議員で共有し今後の活動に活かします。

### ① 子供の健全育成・教育について

#### 将来の学校について「今から議論必要では」

- ・ 5年後には北小で1クラス分の入学児童しかなくなるのが予想されることについて意見交換
- ・ 子どもの数が減っていることは、心配。小・中・2校ずつが活かせる学校運営が必要。
- ・ 「小中連携」は以前から行われているが、「小中一貫」も視野に入れるべきでは。
- ・ 学校が無くなってしまふようなことがあれば、卒業生としても悲しい。小・中学校が一つずつになることのメリットもあるだろうが、2つあることで「切磋琢磨」できる面もあるのでは。
- ・ 学区の変更も、検討すべき。
- ・ 教育委員会では、将来をシミュレーションしているようだ。議会等と、議論すべき問題。

### ② 医療・福祉・健康づくりについて

#### 「地域の支え合い・助け合い」どう進める？

- ・ 社会福祉協議会、地域包括支援センターの方から、活動状況・課題等について話していただいた後に、意見交換



分科会に先立つ全体会では  
常任委員会報告などを行いました

- ・ 早いうちに将来を見据えた議論を起こすべき。大勢の意見を聴き、町民の納得のいく方策を見出すべき。
- ・ その他に出された意見

- ・ 当町は「平和教育」に積極的で嬉しい。益々重要に思う。
- ・ 子ども達に「下諏訪にずっと住んでもらえる」環境を作っていくべき。
- ・ 子育ての環境づくりも必要。下条村に学ぶべき。

- ・ 「地域の支え合い・助け合い」に関するアンケートで、助けを求める側は「雪かき・急病時や災害時の手助け」をあげ、お手伝いできる側は「ごみ出し・除雪・急病時や災害時の手助け」が可能と答えている。雪かきについては、6区では雪かきボランティア会が組織されているものの、全体では間に合っていない。また、各区に除雪機が配備されているが使える人が少ない。支え合いは地域の話し合いがないと難しい。ボランティアの担い手不足が、課題では。
- ・ 社会福祉協議会の業務は増大していると思うが、職員やスペースが足りているか心配。
- ・ 防災訓練の時、車いすの配備が必要。



日頃から感じていることを積極的に出して頂いた分科会

- ・ 保健補導関係者から、課題等出してもらった意見交換
- ・ 湖畔の健康増進の器具の利用がなされていないのではないか。出前講座などをもっと積極的にを行い、活用を図ってほしい。
- ・ 「健康ポイント」についてもっと周知を。

### ③ 防災について

## 全町民の意識向上は必須

議会側から「下諏訪町防災の主な取り組み」を資料として配布。また、「防災士」についての現状を話していただいた後に、意見交換

- ・今年度までに百人を超える防災士が誕生。来年度立ち上げ予定の任意団体「防災士会」に期待
- ・全区で防災マップ作りを進めるべき。
- ・全町で実施される防災訓練は、全体会場では強化されてきたが、地域での訓練は「避難して、集まって、終わり」の所も。それでは、ダメだ。
- ・防災意識の高い方は良いが、低い方の意識を高めていくべき。
- ・そもそも消防団員が少ない。さらに日中、団員

が仕事で地域におらず、消防車も出せない状況がある。

- ・液状化も考慮したり、避難場所に収容人員を記載したりするなど、ハザードマップの改善を図るべき。

・災害時の「要支援者」対応が必要。現状把握や対策が急務。

### ④ 産業振興・経済の活性化について

## 自らのPRをもっと積極的にすべき

ものづくり支援センター篠遠所長より、現状の報告をいただいた後に、意見交換

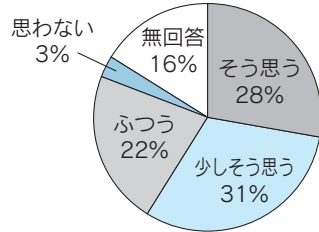
- ・今は労働条件が悪く、過酷な労働環境。技術者が育つには長い時間が必要だが、若者が戻れる環境ができれば良いのでは。

- ・下諏訪は大手企業からの部品発注が多いが、下諏訪ブランドの完成品を作り、世界へ売る力を付けていけば不安定な経営を解消できるのでは。
- ・移住者と働く場所のマッチングで、人材確保すべきでは。企業は、もっとPRが必要。
- ・観光面で、本気のPRも不足しているのでは。ネットを活用して、町外からも多くのお客を呼び込んでいる事業主もいるが、まだまだ一握り歩いて観光する人のために、道の整備が必要。
- ・車が多かったり、自転車もスピードを出して危険。速度制限や、わかり易い標識設置なども必要。
- ・温泉を活用した事業・観光を、全国へもっと発信したらどうか。
- ・山王閣がなくなったことはとても残念。安価の宿泊施設がやはり必要では。

## 議会報告会時 アンケート結果(抜粋・前回結果との比較) 町の皆さんにとって 議会は身近なところ?

- 今回の議会報告会は、内容充実していたと思いますか?

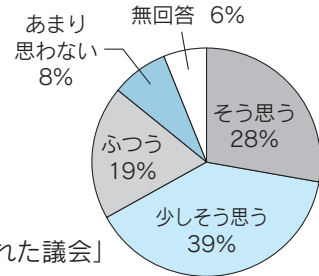
そう思う	28%
少しそう思う	31%
ふつう	22%



- ＊「そう思う」「少しそう思う」との回答が前回より9%増加しました。

- 下諏訪町議会は町民の皆さんに「開かれた議会」だと思いますか?

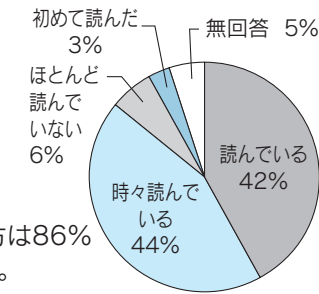
そう思う	28%
少しそう思う	39%
ふつう	19%



- ＊合計67%の方に「開かれた議会」と評価頂きました。

- 「議会だより」を読んでいますか?

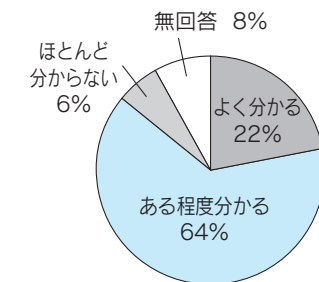
読んでいる	42%
時々読んでいる	44%



- ＊読んでいただけている方は86%で、前回より増えました。

- 「議会だより」で、町議会で議論された内容は分かりますか?

よく分かる	22%
ある程度分かる	64%



- ＊86%の方に「分かる」と、前回より評価を頂きました。今後も読みやすく、分かりやすい紙面づくりを心がけます。

アンケートへのご協力、ありがとうございました

# 向陽高校生との懇談会



昨年引き続き下諏訪向陽高校を訪れて、生徒のみなさんと懇談会を開かせていただきました。生徒会役員ら14人の生徒さんから、率直な意見や提案をいただきました。若者の考えを聞くよい機会となりました。

## ◇海外研修◇

生徒会担当の先生 本校の地元出身者は全体の10%。海外研修は地元の高校で学んでもらう選択肢の一つになるのでは。当校は外国人学生を受け入れているし、学力発展の先駆けとなる事業になるので、下諏訪出身の生徒だけでも参加させて欲しい。

生徒 下諏訪町在住でないが、チャンスがあれば参加したい。

議員 グローバルな生徒を育てるために海外研修は必要と思うので、参加できるように後押ししたいと思う。

## ◇山王閣の跡地利用◇

生徒 いつも登下校で見っていた山王閣がなくなって、残念に思う。

生徒 秋宮の所有地であるが、跡地にベンチなどを設置してほしい。

議員 議会も町に対して、問題提起した経緯もある。



校長先生のごあいさつ

## ◇観光案内版の設置◇

生徒 四ツ角で「春宮がわからない」と声をかけられた。春宮の場所はわかるがうまく観光客に伝えられなかった。観光客は町の地図はもっていたけど、小さくて見えにくかった。生徒 看板が分かりづらい。春宮への道は狭くて歩きにくいと感じる。

## テーマ①

しもすわ未来議会での  
質問をもう一度

## テーマ②

観光に関すること

## ◇ゴミ箱の設置◇

生徒 三角八丁などイベント時に、ゴミ箱が少なく不便。常時設置も検討して欲しい。

議員 利便性からいうと常時設置だが、今はゴミの持ち帰り運動を奨励している。

生徒 観光客、特に外国の人にもゴミ箱の案内がわかるようにしてほしい。

生徒 基本的には自分で出したゴミは自分で持ち帰るのが礼儀だしマナーだと思う。道端にゴミが落ちてると「なぜこういった所に捨てるのだろう」という気持ちになる。

### テーマ③ スマートフォンのことについて

生徒 今、生徒会でスマートフォンの使用について話し合いがされている。SNSの普及やネットのゲームができるようになってきて、昼休みや授業中にスマートフォンを使用している生徒を見かける。議会は規制があるか？議員 議場に入る者は、写真機及び録音機の種類を携帯してはならない決まりになっている。先生 授業中のスマホは禁止。生徒自信のモラルの問題。ツールとしてスマホは必携だが、使用すれば注意する。生徒側から使わないように考えて欲しい。決まりを作る予定は？生徒 来年の4月から初めて、2〜3ヶ月様子を見て、規制に効果があったかを確認したいと思っている。議員 学校ではなく自分たちで決めることに意義があると思う。ぜひ学校でなく生徒会が進めてほしい。



### テーマ④ 10年後に住みたい下諏訪町とは

先生 将来地元で働きたい、住みたいと思う人はいるか。生徒 買い物がかしにくく、住みづらいから都会の方がいい。他の地で暮らしたい。生徒 将来自分がやりたいことはこっちは難しいと思う。東京とか都会に行つて、もっといろいろ見たいし、県外で働きたい。生徒 私の進学したい学校は都会にあるが、将来は自分が住みやすい町で暮らしたい。先生 例えば大規模な商業ビルが近隣にあるが、下諏訪にもあるといいと思う人は。生徒 はい。でも、諏訪の人は新しいものができるって飛びつくが、すぐに飽きる傾向もあると思う。生徒 自分も3年で進学先は県内だが、地元に戻りたい。生まれ育った地がいい。先生 生徒のみんなは、10年後に住みたいと思う町に、自然面を重視するのか。利便性を重視するか。先生 (生徒の挙手を)



受けて)自然面と利便性が、半々ぐらい。議員 「語るカフェ」の中で、居場所がほしいと聞いたが。生徒 夏の部活帰りに、電車を待っている間、体を休める場所が欲しい。駅前の公園には日影がないし、炎天下で暑い。駅近くにお店もないので、高校生が利用できる店が欲しい。



### テーマ⑤ 18歳に引き下げられた選挙権について

先生 今日参加している生徒たちは2年生が主。18歳に達したら、選挙で投票に行く意思があるか。生徒 行こうと思う。今日の懇談で、町政が少し身近になった。先生 今日参加している生徒たちは、生徒の率直な意見も聞いたかなと思う。議員の皆さんにも、参考になることがあればと思う。一同 ありがとうございます。

## 議長のつぶやき

# 意外と知られていない 広域的取組み



議長 高橋 隆弘

今、下諏訪町が加入している広域的組合は、諏訪広域連合を事務組合と捉えれば、4事務組合あります。意外に知られていない事務組合の取組を紹介しながら「諏訪圏の理想像」を考えてみたいと思います。

まず諏訪広域連合ですが、広域消防、介護保険事業や救護施設・八ヶ岳寮の管理運営をし、事業規模は表のように約204億円です。広域的に事業を進めることによって効率的に大規模な事業を推し進めることが出来ます。

湖周行政事務組合は、「湖周クリーンセンター」ごみ処理施設の管理運営と、最終処分場建設を目的とし、事業規模は約22億円です。

単位千円 ( )内当町

事務組合	対象事業	28年度決算	構成市町村	議員数
諏訪広域連合			6市町村	22(3)
一般会計	総務費他	237,091		
特別会計	介護保険	17,697,298		
	広域消防	2,120,598		
	救護施設 八ヶ岳寮	380,272		
合計	ふるさと振興基金	15,465	20,450,724	
湖北行政事務組合			岡谷市 辰野町 下諏訪町	17(4)
一般会計	総務費他	8,624		
特別会計	衛生センター	75,838		
	火葬場	122,475		
合計		206,937		
湖周行政事務組合			岡谷市 諏訪市 下諏訪町	12(4)
	湖周クリーンセンター他	2,226,878		
諏訪広域公立大学事務組合			6市町村	20(2)
*一般会計暫定予算	諏訪東京理科大学	*2,766		

(\*)29年度暫定予算

最後に諏訪広域公立大学事務組合ですが、「衛生センター」と火葬場「湖風苑」を管理運営し、事業規模は約2億円となっています。

最後に諏訪広域公立大学事務組合ですが、平成30年4月の諏訪東京理科大学の公立化をする取組みです。29年度は暫定予算で約270万円ですが、30年度は大学運営を担っていくこととなります。大学の中間目標を規定するなどの作業に追われています。

いずれも目的別に組合を設立して、広域的メリットなど工夫を凝らしています。将来的にどんな姿が求められるのか、行政の効率的運用など研究・議論する必要があります。

## 好きです しもすわ

### 下諏訪の力



地域おこし協力隊  
小林 由香里

地域おこし協力隊として、日頃沢山の方にお世話になっております。

私は諏訪湖から見える富士山が好きです。塩尻市に住んでいた時は、恥ずかしながら諏訪湖から富士山が見えると知りませんでした。歌川広重の

絵にもある様に、街道を歩いた旅人も縄文人も諏訪湖から富士山を見たのかなと、長い歴史を感じ、ここにいることが貴重に思えます。

歴史があり、昔から人の往来があったからか、町の人に気軽に話しかける事もでき、商店街の方との立ち話は日常茶飯事になっています。「住んでみたい」と移住交流拠点である「ミームーセンタースメバ」に来てくれる人もそんな町と人の魅力に惹かれていたのではないのでしょうか。

このように生活や活動をする中で、沢山の方とお会いし、下諏訪には活発で優しい方が沢山いることがわかりました。今後の活動でも、そのような方と一緒に新しいことにチャレンジし、歴史も新しい文化もある下諏訪を盛り上げていきたいと思っております。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様に新しい年の思いがあると同じように、議会だよりも発行する都度、何か新しい思いを入れていこうと思います。恰もアヒルが水中で足を休むことなく動かしているように。

広報特別委員会  
委員長 宮坂 徹



駅前広場イルミネーション

副委員長 金井 敬子  
委員 森 安夫  
委員 青木 利子  
委員 中村 奎司  
委員 岩村 清司